



輝き人生ライフ

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介しします。

ササユリが咲く 懐かしい里山を取り戻そう

くすびらお
楠平尾ひょうたんの会（楠平尾町）



▲会員が整備を行っている里山では、6月上旬に約600株ものササユリが咲きます。
▶亀山南小学校の児童が総合学習として、毎年里山を訪れ、植物の観察などを行っています。

昔の里山の風景を少しでも取り戻そうと、ササユリの保護、育成、増殖や里山の保全活動に取り組む楠平尾ひょうたんの会の皆さん（現在5人）。平成14年から、楠平尾町の荒れてしまった里山の間伐や下草刈り、ササユリの植樹などに取り組み、「ササユリの里」を作り上げました。試行錯誤はあったものの、現在では約600株ものササユリを、整備された里山で咲かせるようになりました。また、見頃を迎える毎年6月上旬には、ササユリの愛らしい佇まいを多くの方に楽しんでもらおうと、「ササユリの里」を公開しています。

一始めたきっかけは？

「里山を復活させようと、雑木林を伐採していた際、たまたま1株

だけ咲いているササユリを運命的に見つけました。仲間と話し合い、子どものころに見たように『里山いっぱいササユリを咲かせたい』という思いになりました。」

一今はどのような活動を？

「ササユリをはじめ、今は珍しくなった植物の保護に取り組んだり、皆さんに散策してもらおうと、里山を整備したりしています。また、亀山南小学校の児童が総合学習として里山を訪れてくれるので、一緒に注意看板を作ったり、成長記録をまとめたりしています。」

一ササユリの魅力は？

「清楚で気品あふれる花で、訪れた人々を魅了し、毎年見学に来られる方も多いです。また、香りが良いのも特徴で、公開時に朝一番に

お越しいただくと、ササユリのほのかに甘い香りが里山いっぱいに漂っていますので、お勧めです。」

一やりがいとは？

「ササユリは種をまいて、花を付けるまで約8年かかります。丹精込めた分、見事に咲いた時は喜びもひとしおです。また、見学者の方々に、『とても美しかった、来年もまた来るよ』などと、声を掛けられると嬉しい気分になり、続けていこうという気になりますね。」

一これからは？

「一緒に活動をしていってもらえる若い世代の仲間が増えるとうれしいと思います。ササユリの里がいつまでも地域にとっての憩いの場、見学者にとっての癒しの場になってもらえればと願います。」



図書館の本棚から 市立図書館 (☎82-0542)



『ひとり暮らしを鍛える暮らし方』

清水信子／著

講談社（2015年1月刊）

ひとり暮らしは「自分を楽しむ」ように暮らすのがいちばん！料理研究家“シンコ先生”が、食べることから防犯のコツまで、シニア世代の「とっておきの」暮らし方を紹介！！



『出版禁止』 長江俊和／著

新潮社（2014年8月刊）

社会の暗部を暴き続けるドキュメンタリー作家の「心中事件」。相手は有名女優の妻ではなく、不倫中の女だった。7年後、ひとりのルポライターが生き残った女のインタビューに成功し「カミュの刺客」というタイトルで月刊誌に掲載する予定だったが、そのルポは封印され……。

～新着だより～

小説

- 「ななつ星」極秘作戦／西村京太郎
- 思い出は満たされないまま／乾緑郎
- ドラゴン・オプション／中原清一郎
- 閉店屋五郎／原宏一
- 虹猫喫茶店／坂井希久子

児童

- パンのようちえんえんそくにいく／さとうめぐみ
- チョコちゃん／柳月美智子
- 英語でよみとく百人一首大図鑑／ピーター・ジェイ・マクミラン
- おねがいパンダさん／ステイブ・アントニー
- ねこの風づくり工場／みずのよしえ
- 帳簿の世界史／ジェイコブ・ソール

その他

- ヒューマシンのカンパニー／中山慎一
- パンとチーズの水彩画／丸山薫
- コチャレ！／上大岡トメ
- 「吠えグセ」について、犬のコタロウさんにきいてみました。／藤井聡

他547冊